

平成28年度向日市地域密着型サービス運営委員会 要点録

- 1 開催日時 平成29年3月22日（水）午後3時30分から午後4時15分まで
 - 2 開催場所 向日市役所 大会議室（3階）
 - 3 出席委員 岡本委員、高桑委員、乾委員、岡田委員、木下委員、柴田委員
内藤委員、宮川委員（8名）
 - 4 欠席委員 堀委員（1名）
 - 5 傍聴者 なし
 - 6 事務局 水上健康福祉部副部長、細川主幹、野関主任（3名）
 - 7 議題
 - （1）会長の選任について
 - （2）平成28年度地域密着型サービス事業所の運営状況について
 - （3）平成28年度地域密着型サービス事業所実地指導結果について
 - （4）その他
-

議事（要約）

- 1 あいさつ
- 2 議題

（1）会長の選任について

会長には京都保育福祉専門学院の学院長である岡本委員が選任された。

（2）平成28年度地域密着型サービス事業所の運営状況について

～事務局からの説明～

- ・向日市内にある地域密着型サービス事業所の平成28年度の運営実績について報告した。

～委員からの意見・質疑～

- ・資料1（1）小規模多機能型居宅介護の事業所のサービス利用状況について、市内にある2事業所において登録人数はほとんどかわらないのに、泊りや訪問回数に差があることについて質問があった。

また、小規模多機能型居宅介護は、通いと泊りと訪問のサービスを組み合わせて利用し、サービスの提供量に関係なく1箇月あたりの報酬が定額であることから、サービスの利用状況が違うという現状を、市内の事業所に伝える必要性についてご意見をいただいた。

泊りや訪問回数については、実地指導の際にサービスの利用希望者が少ないのが現状ということを確認している旨回答した。

また、サービスの利用状況の違いについては、今回の会議資料を事業所に示す旨回答した。

- ・資料1（1）小規模多機能型居宅介護の事業所の泊りと訪問のサービス利用状況について比較をする場合、登録人数だけでなく、家族構成等の背景も影響するのではとのご意見をいただいた。

- ・資料1（2）定期巡回・随時対応型訪問介護看護の事業所について、平成27年度の地域密着型サービス運営委員会において、「高齢者が中重度の要介護状態となっても、可能な限り住み慣れた自宅または地域で生活できるようにすることが地域密着型サービスの主旨であることから、定期巡回・随時対応型訪問介護看護の事業所について、向日市民の利用者を現在より拡充させる必要があるのではないか」という意見について、「向日市も同様の考えであり、事業所には実地指導や医療・介護連携推進会議等の中で話をしている」と回答をしたことについて、その取り組み状況について質問があった。

また、地域密着型サービスは、住み慣れた地域での生活を続けるために向日市民に提供されるサービスであることを念頭に置いて事業所への指導をお願いしたいとのご意見をいただいた。

平成28年度は実地指導対象外であったが、概ね3箇月に1回ある医療・介護連携推進会議において、毎回、利用者の状況の確認し、事業所から報告を受けており、向日市民の利用者を現在より拡充させるため、管理者による営業や、営業方法等についても会議で話し合いを行っているが、報酬単価が高いこと等もあり、なかなか利用者の拡大には至っていない現状を説明し、平成29年度も引き続き向日市民の利用者を拡充することに取り組んでいく旨回答した。

（3）平成28年度地域密着型サービス事業所実地指導の結果について

～事務局からの説明～

- ・平成28年度は市内4事業所6サービスについて実地指導を行った。
- ・宿泊室の一部が物置になっているような状況等を指摘し、改善報告を求めている旨の説明を行った。
- ・その他重大な指摘事項はなかったが、書類の記載・捺印漏れや保管方法等、細かな指摘を行った。

～委員からの意見・質疑～

- ・資料3の2重要事項説明書、運営規程、契約書関係の指摘事項3点目の損害賠償とは損害賠償保険のことを示しているのか確認があり、損賠賠償保険のことである旨を回答した。

（4）その他

次回の会議日程について、平成30年2～3月頃の開催を予定していることをお知らせした。